

総合講座「故郷探検」

富山県立イタイイタイ病資料館を見学

10月8日（水）午後、生徒27名（1～3年）と教員3名は富山県立イタイイタイ病資料館を見学しました。係から展示内容についての解説を聞きながら、病気の発生と被害の実態、原因究明と患者の救済、汚染された土壌の復元について学び、イタイイタイ病の怖さについて改めて知ることができました。

【生徒の感想】

- ・いったん汚すと、戻すのにとても時間がかかるということを教訓として残したい。
- ・一度起こったものは莫大な金と時間をかけないと戻らないのは、今の時代も同じなのだと学びました。
- ・カドミウムというものを食べてしまっただけでこんなに苦しむなんて怖い。これからはこんなことが起きないようにしてほしい。



イタイイタイ病資料館



床面は富山県地図（エントランスホール）



正常な骨と病気の骨の違い



汚染された農地を元の美しい姿に戻すまでの道のり



川の水を利用して生活していた頃の暮らしぶり